

代表質問・一般質問の要旨 (令和8年3月定例会)

【代表質問】

	議員名	所属会派	質問形式	登壇予定日
1	田畑 篤子	新政クラブ議員団	一問一答	3月6日 (金)
2	小西 洋一	日本共産党議員団	2 分割	
3	廣瀬 昇	超党・市民ファースト議員団	一 括	
4	上羽 和幸	公明党議員団	一問一答	
5	谷川 眞司	自民党鶴政クラブ議員団	一問一答	

【一般質問】

	議員名	所属会派	質問形式	登壇予定日
1	松田 弘幸	公明党議員団	一問一答	3月9日 (月)
2	眞下 隆史	新政クラブ議員団	一問一答	
3	川口 孝文	自民党鶴政クラブ議員団	一問一答	
4	伊田 悦子	日本共産党議員団	一問一答	
5	仲井 玲子	超党・市民ファースト議員団	3 分割	
6	杉島 久敏	公明党議員団	一問一答	
7	眞下 弘明	新政クラブ議員団	一問一答	
8	南 正弘	自民党鶴政クラブ議員団	一問一答	
9	小杉 悦子	日本共産党議員団	一問一答	
10	西村 正之	超党・市民ファースト議員団	一 括	
11	小谷 繁雄	公明党議員団	一問一答	3月10日 (火)
12	今西 克己	新政クラブ議員団	一問一答	
13	水嶋 一明	自民党鶴政クラブ議員団	一 括	
14	高橋 秀策	超党・市民ファースト議員団	一 括	
15	野瀬 貴則	新政クラブ議員団	一問一答	
16	上野 修身	自民党鶴政クラブ議員団	一問一答	
17	福本 明日香	超党・市民ファースト議員団	一問一答	
18	山本 治兵衛	新政クラブ議員団	一問一答	
19	尾関 善之	自民党鶴政クラブ議員団	一問一答	

【代表質問】

1 田畑 篤子 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

1 市政運営について

「未来に希望のもてる活力あるまち・舞鶴」を目指しているが、偏りのない誰ひとり取り残さない市政運営とその広報について問う。また、「職員の働き方改革」として改正された点が、市民サービスに繋がっているのか、市民や職員の声の受け止めを問う。無償化された学校給食の質確保についても問う。



2 地域医療構想について

公的4病院再編の進捗状況と新年度の診療体制について問う。また、令和9年の医療センター附属看護学校閉校の関連事項として、その後の看護師確保と、跡地、跡施設活用を問う。加えて、市長公約の中丹地域医療構想で疲弊していたとする公的4病院職員への根本的対策と市民病院のあり方検討の存在を問う。

3 新幹線誘致について

舞鶴にとっての新幹線誘致の意義については理解するが、「市議会決議書」との相違点について問う。また、京都府北部五市二町との連携についての過去の経過の認識についてと、今後の方向性を問う。

4 学校教育について

学校再編計画の現状と計画、再編に係る課題と対策について問う。モデル事業「インクルーシブ教育」についての現状評価と課題、また生徒・教員の評価を問う。課題の多い教育現場における専門職の行政、医療、福祉の必要性と連携を含めた、「学校作業療法士」の導入の提案を問う。

2 小西 洋一 議員（日本共産党議員団） [2分割]

1 市長のまちづくりの「基本姿勢」について

海上自衛隊舞鶴基地が拡大・増強しているが、市民には何も知らされていない。防衛省近畿地方整備局に「住民説明会」を要望すべきではないか。また、市長は、商工会議所の新年互例会で「高市首相の『責任ある積極財政は舞鶴のためのものと思える』と発言。また、「新幹線舞鶴ルートを取りに行く」との発言の真意を問う。



2 市内公的4病院の再編・統合について

市長は「救急は東、東に一つ西に一つ」の病院再編・統合の合意に至ったとされたが、「必要な診療科、必要な医師数」は確保されるのか、「市内で完結する医療体制」となるのか。さらなる市民ニーズの把握と「住民説明会」が必要ではないか。市長の見解を問う。

3 「舞鶴市公契約条例」の制定について

昨年の9月定例会では、静溪ポンプ場の損害賠償額をめぐる審議が「秘密会」とされたが、本来は公開で、市民への説明責任を果たすべきではないか。府下の市で本市だけ「不開示」となっている積算単価の公表と、「舞鶴市公契約条例」制定の可能性について市長の見解を問う。

4 「市民の命と健康を守る」施策について

気候変動による日本の猛暑は「酷暑」と呼ばれるほどになった。今年も「酷暑」が予報されている。市民の命と健康を守るためにも、エアコンの購入、設置、修理に対して「上限10万円」の補助事業を「制度化」してはどうか。市長の見解を問う。

3 廣瀬 昇 議員（超党・市民ファースト議員団） [一括]

・ 市政運営の基本方針と令和8年度予算編成について

人口減少等の転換期を迎える舞鶴市において、鴨田市長は、前例を打破する行財政改革を牽引し、当議員団も賛同している。令和8年度は、過去最大420億円規模の予算を編成し、財政の持続可能性と未来への投資を両立させた。

今回は、市長に、医療再編をはじめとする5つの政策の柱や職員への思いについて問う。



4 上羽 和幸 議員（公明党議員団） [一問一答]

1 令和8年度の予算編成について

令和8年度の予算編成に、枠配分方式と一件査定方式を組み合わせたハイブリッド方式を取り入れたとある。それぞれのメリット、デメリットがあるが、具体的にどのように実行されたのか。また、枠配分の編成と一括査定の成果、各部署への適切な予算配分、基金と地方債の考え、既存事業の見直しと不用額に対する考えも問う。



2 雨水管理総合計画について

雨水管理総合計画は、令和7年度において、委託していた必要な調査を完了する見込みだが、その内容はどのようになったか。今後、調査資料を基に計画策定を進めていくことになるが、そのスケジュール、工程はどのように考えているのか。また、策定完成の見通しはいつか問う。

3 市民にやさしい市役所について

舞鶴市は、市役所の職員が働きやすくするために、様々な取組を行って来た。外線電話の録音と業務時間外の電話自動音声対応、庁内での防犯カメラの設置等、今年の1月13日からは開庁時間と終了を短縮された。職員の働き方改革は重要であり必要だが、市民から不信の声を聞くことがある。市役所に訪れる市民の立場に立った、丁寧な対応を考えていただけないか問う。

5 谷川 眞司 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一問一答]

1 新幹線舞鶴ルートについて

北陸新幹線敦賀以西のルート再検討において、舞鶴ルートの必要性や優位性を市がどのように評価しているのか、また、正式な検討対象となった現状を踏まえ、実現に向けて国や関係機関へどのような具体的働きかけを行うのか、その方針と戦略を問う。



2 旧マイコムの除却について

旧マイコムは、老朽化と多額の改修費による将来負担を踏まえ除却を判断。跡地は単なる駐車場ではなく、東地区全体の再生を牽引する拠点として位置付け、「東地区まちなかエリアビジョン」とサウンディングを通じ、若者が集い民間投資を呼び込むにぎわい創出を目指すことを問う。

3 舞鶴まちなか高専構想について

舞鶴高専の「まちなかキャンパス」構想について、覚書の位置づけ、学生・教職員規模、居住支援、立地、スケジュールを確認。人流創出や経済効果、産学連携、地域交流による中心市街地活性化と若者定着を図る将来のまちづくりの核としての具体化を問う。

4 介護ニーズの多様化について

ビジネスケアラー増加に伴う介護ニーズ多様化と保険外の間サービス需要、独居高齢者の見守り体制の現状と課題を問うとともに、民間見守りサービスへの補助創設や公民連携による新たな高齢者支援施策の方向性を問う。

5 中央図書館の利用について

中央図書館の西舞鶴集約に伴い、東舞鶴地域の市民に利用格差が生じないかを問う。交通費や移動時間の負担により、学生や高齢者の利用機会が制約される懸念を踏まえ、「全市域サービス」の実現に向け、東舞鶴住民が西舞鶴と同様に日常利用できる具体的な支援策や利用環境の確保について、市の考えを問う。

6 病院再編について

公的4病院の東西2拠点への再編について、関係病院との協議進捗と合意見通しを問う。重点支援区域指定の影響、医師確保や診療体制の強化策、通院距離増への対応など、市民の医療アクセス確保の方策を確認するとともに、情報公開の方法と基本合意から開設までの全体スケジュールについて、市の見解を問う。

7 赤れんがパークとまちなかエリアの回遊について

舞鶴赤れんがパークへの来訪者を中心市街地へ波及させるため、歩行環境整備や案内強化による回遊導線の向上、食や歴史を活かしたコンテンツ充実、データ共有と指標設定によるエリア一体型マネジメントの構築を問う。

8 ローカルベンチャー育成について

舞鶴工業高等専門学校と連携したローカルベンチャー創生事業の目的と将来像、支援体制の強化内容、民間専門人材との伴走支援の具体像、若者のU・Iターン促進策、起業家教育の実践内容について市の方針を問う。

【一般質問】

1 松田 弘幸 議員（公明党議員団） [一問一答]

1 人口減少下における献血推進戦略と、若年層の「自分事化」を促す施策について

近年、若年層の献血者数が大きく減少しているといわれており、文部科学省からも、学校における献血への理解促進に取り組むよう通知が出されている。子どもたちが血液の役割や献血の意義を学ぶことは、「自分の血液が誰かの命を支える」という、人として大切な心を育む教育にもつながる。理解促進に関する取組と子どもたちの心を育む教育について見解を問う。



2 人口減少時代における「地域課題解決型予算」の導入と市民協働の深化について

「市長は市政方針において、人口減少や社会構造の変容により地域活動への関わりが希薄化し、地域コミュニティが構造的な課題を抱えていると述べた。しかし、地域の活力を維持するためには、地域が自ら課題を見つけ、解決に動くための『攻めの仕組み』が必要。その鍵となるのが、地域課題解決型予算であると考えているが本市の考えを問う。

2 眞下 隆史 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

1 JR東舞鶴駅周辺の開発について

昨年12月定例会で質問した、JR東舞鶴駅周辺を中心にした「舞鶴まちなか学びの拠点整備事業」が、急速に進展している状況と考える。舞鶴高専との連携を進めることで、東地区のまちづくりが今後どのように開発される方向性なのか、また、その規模等を確認しながら、市民理解を求め手法について、現状を問う。



2 戦略的な企業誘致政策について

舞鶴市の経済発展を期待し、新たな様々な企業の誘致政策が必要である。直近で企業誘致が成功し、市内の唯一である市が保有する工業団地が全て埋まった状況にあり、新たな工業用地の確保が喫緊の課題であり、舞鶴市の有利な条件に加え、課題も解決しながら、戦略的な企業誘致に取り組むべく提案を含め市の見解を問う。

3 川口 孝文 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一問一答]

1 中学校部活動の地域展開について

本市中学校では、令和8年度2学期から休日の部活動を停止し「地域クラブ活動（まいかつ）」へ展開されるが、部活動の「何が」「どうなる」かの市民全般への周知が十分ではない。

そこで、これまで取り組まれてきた実態調査、舞鶴市部活動地域展開推進会議や生徒の「まいかつ体験」等で抽出された課題及びその対応・施策について問う。



2 有害鳥獣等の捕獲・駆除等について

本市においても、この冬季にクマの出没が認められた。どのような状況であったかを確認するとともに、クマが活動を活発化すると思われる春先に向けての対応・施策について問う。

4 伊田 悦子 議員（日本共産党議員団） [一問一答]

1 市民生活に大きな影響を与えた雪対策について

本年の大雪は市民生活に大きな影響を与えた。そのような中で、除雪対応について様々な要望を聞き、課題を感じている。高齢化が進む地域においては、「自助」「共助」では対応できない地域への「公助」が求められている。保育施設までの除雪についても対応が求められている。市道の除雪箇所増加、小型除雪機の貸与の拡大、これらについての市の見解を問う。



2 誰もが安心して利用できる本市保育行政について

「舞鶴市こどもまんなか計画」では、誰一人取り残されず、健やかな成長を目指すとしている。実態はそうなっているのか。その上に立てば、認可外保育施設への恒常的な運営費の補助が必要。また、4月からスタートする「こども誰でも通園制度」の問題点についての市の見解を問う。

3 子どもの笑顔がみえる学校給食について

中学校給食は「冷たい」。この改善が求められる。市長は「すべての子どもたちに安全で美味しい給食を届ける取組を引き続き進める」とされた。この中に「温かい」がない。子どもや保護者の願いは「温かい給食」。その願いに応えるためにも、導入後10年経過した今日、スクールランチ方式は見直すべき。市の見解を問う。

5 仲井 玲子 議員（超党・市民ファースト議員団） [3分割]

1 株式会社ユビタス誘致による今後の希望と展望について

35年ぶりとなる平工業団地へのユビタスのデータセンター誘致により、世界最先端技術が本市に置かれることとなった。ユビタス社と本市との関係性により、今後市内にAI都市としての機運が高まってくことを期待する。子どもたちや市民への起業家精神の醸成と、舞鶴における産業クラスター構築に向けて本市の展望を問う。



2 民間賃貸住宅における家主の負担軽減について

家の借主が亡くなった場合、家主が片付けをすることは法的に禁じられている。家主が縁者を探すのは手間がかかるが、残置物が腐敗、害虫の発生があるので、片付けには早急を要し、残置処理には大きな金銭的負担がある。高齢者入居への家主のリスクを減らし、民間の空き家の活用を促進するための市の助成制度について問う。

3 市民の生活と安全を守る地域観光マネジメントについて

SNSで「東洋のヴェネチア」として注目を集める吉原地域は、まだ観光地としての下地が整っていない状況である。SNSなどであらかじめ観光に来る人に吉原地区での観光の注意点を流し、住民の生活圏を守るためのマネジメントが必要であると思うが、市の見解を問う。また、五老ヶ岳駐車場の混雑緩和について問う。

6 杉島 久敏 議員（公明党議員団） [一問一答]

1 教員の働き方改革について

教員の長時間勤務がクローズアップされる中、本市小中学校教員における勤務時間は、文部科学省が定めた「指針」に準じて適切に管理されているのかを問う。

教員不足により悪化する学校現場の労働環境をどのように把握し、どのように評価されているのかを問う。

教員の長時間勤務防止、働き方改革を促進するため、DXによる業務の効率化を図る観点から自動採点システム導入を検討すべきと考えるが、本市の見解を問う。



2 廃校となった学校施設（跡地）の利活用について

本市において廃校となった学校施設（跡地）の現状を問う。

市における学校施設（跡地）の利活用に向けた明確なビジョンがあるのか、その状況を問う。

地域特性に合わせた地域活性化に繋がる学校施設（跡地）の利活用への取組をどのように考えているのかを問う。

7 眞下 弘明 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

1 舞鶴市の将来の公共交通の在り方について

全国的にバス路線の縮小や減便が相次いでいる。本市の現状は、バス路線の利用者の少ない路線や時間帯での減便はある。背景には、人手不足、ドライバー不足が要因としてあるが、本市の公共交通における人材の状況を問う。

全国でドライバーのなり手不足はコロナ禍による離職加速と高齢化の進行が主な原因で深刻な状況で、今後の公共交通施策を考える必要があると思うが、市の考えを問う。



2 舞鶴市役所の有料駐車場の除雪について

赤れんがパーク第2駐車場の2月8・9日の除雪について、大雪により駐車場に停められる台数が少なくなり、停められない人が多数出た。その原因を問う。

駐車場が新しくなり、初めての大雪を経験した結果、今後の除雪の対策を問う。

8 南 正弘 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一問一答]

1 舞鶴市の未来について

舞鶴市が取り組んでいる次期総合計画について、市民参加型で未来像をつくるとあるが、どういった形で市民が参加できるのか。ワークショップや講演会等を通じて市民が声をあげているが、市民の声が反映されているようには見えない。ワークショップ、アンケート、講演会などを通じて市民の声を計画に反映とあるが、どのような形で具体的に反映されるのか問う。



2 教育用タブレットについて

教育の先進国であるスウェーデンやフィンランド等の北欧の国々が、各種の弊害があり「デジタル優先」政策を見直し、紙の教科書を再導入しているが、当市では引き続き教育現場での活用を推進していくのかを問う。

3 除雪について

積雪で子供たちの通学路の除雪をしなければならないが、地域のボランティアでは限界があるので、降雪が見込まれる前に小型除雪機を借りるということできないのか。市役所または小中学校で保管しておき、必要な都度借りられるシステムの構築は難しいのかを問う。

9 小杉 悦子 議員（日本共産党議員団） [一問一答]

1 国民健康保険事業について

4年連続国民健康保険料の引き上げを市は提案。止まらない物価高騰で暮らしに大きな影響を受けている上での加入者の負担増はやめるべき。背景には、国が進める都道府県での統一保険料の実施を計画し、各自治体で保険料の引き下げができないようにする仕組みにすることがねらい。また、「子ども・子育て支援金」の徴収が始まる。新たな税金とらえている。市の認識を問う。



2 重度障害者の医療的ケアと暮らしの場の確保について

第4期障害者計画に初めて明記された「医療的ケアが必要な人が身近な地域で安心して生活できる」ような取組の進捗状況を問う。医療的ケアを必要とする人たちの生活の場の確保を進める視野を持って病院の統合再編で地域医療の確保の議論を進めるべきと考える。市の姿勢を問う。

3 農業や漁業の振興について

気候変動の影響を受け、稲作では高温、渇水、漁業ではトリガイやカキの生産に大きな被害が発生している。事業者がこれまで経験したことのない生産の困難に、市の生産者への支援強化や今後の事業展開の方向性を問う。

10 西村 正之 議員（超党・市民ファースト議員団） [一括]

・ 海上自衛隊舞鶴基地について

舞鶴市と海上自衛隊舞鶴基地は、鎮守府開庁以来120年以上にわたり、基地とともに発展してきた歴史を共有していることは周知の事実である。基地の貢献度は、単なる国防にとどまらず、経済、観光、防災など多くにわたっている。海上自衛隊舞鶴基地の貢献度に関する市の思いについて改めて問う。



11 小谷 繁雄 議員（公明党議員団） [一問一答]

- 誰もが安心して暮らせる住まいの確保支援について
物価高騰や生活困窮により住まいの相談が増加・複雑化する中、家賃滞納世帯への早期支援や見守り支援、多機関連携による支援体制の構築、居住支援協議会設置の検討状況と設置に向けた課題を問う。また、第2期長寿命化計画に基づく市営住宅の再編・耐震化・バリアフリー化の進捗と、地域ニーズを踏まえた供給体制の見直しについて問う。



12 今西 克己 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

- 過疎地域及び条件不利地域における集落の現状について
日本全国各地の多くの自治体における集落において極端な高齢化と人口減少に見舞われる中で限界集落等が発生している。本市においても75歳以上の高齢者が集落人口の50%を超え、集落の共同活動の機能が低下し、社会共同生活の維持が困難な高齢者ばかりになって地域の共同体が機能しなくなる「超限界集落等」が存在する。厳しい深刻な現状にあることからその現状を問う。



13 水嶋 一明 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一括]

- 国内フェリー舞鶴小樽航路について
昭和45年に就航した「舞鶴小樽航路」は、開設以来、半世紀以上にわたり本市と北海道との物流・観光の背骨ともいえる極めて重要な航路であると考えている。
そこで、今日のフェリー旅客の動向、フェリー旅客に焦点を当てた市内への滞在今後の誘客、フェリーの物流について、フェリー航路に対する市の考え方を問う。



14 高橋 秀策 議員（超党・市民ファースト議員団） [一括]

- 北陸新幹線について
舞鶴ルート再浮上でこれが最後のチャンスと思う。今一度舞鶴ルートの優位性と整備新幹線の目的にある国の発展と地域の振興を広く訴えていかねばと考えている。
市として改めて新幹線誘致についての意義と今後の誘致に向けた取組について問う。
- 遺贈寄附について
遺贈寄附とは、生前に遺言書信託など一定の条件を満たした方法により本人の意思を遺しておき、亡くなった後に遺産の一部またはすべてを寄附することを言う。「遺贈寄附」で社会貢献することも大切であると考えている。
本市でも遺贈寄附を取り組んでみてはどうかと問う。
- 水道ビジョンについて
令和2年に舞鶴市新水道ビジョンを策定され、安心・安全な水道水の安定供給に努めていただいている。今年度は、令和9年度から10年間の基本計画となる次期上下水道ビジョンを策定されるとされている。
そこで、現水道ビジョンに関し、広域連携、民間委託、経年管路の更新及び管路の耐震化、未普及地域の解消、由良川取水施設移転計画、料金改定及び用途別料金から口径別料金への移行について問う。



15 野瀬 貴則 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

1 E B P M（根拠に基づく政策立案）について

本市施策がどこまで根拠（エビデンス）を重視しているか、E B P M導入の現状と展望を確認する。さらに、市民意見の反映手法や住民投票制度の在り方、住民意向調査の活用可能性についての市の見解と、施策実施後の効果測定やアウトカム評価の重要性について、行政運営の透明性向上と持続可能な政策形成について問う。



2 地場産野菜の活用と支援について

舞鶴の農地特性を踏まえ、地場産野菜の活用促進と生産者支援の在り方を問う。学校給食での利用目的や利用率と目標設定の考え方や生産者参加の意義など、多面的視点から安定供給体制の構築や価格安定策を含む持続可能な支援方針を確認する。そして、地域農業の発展と食育推進を両立させるための具体的施策について問う。

16 上野 修身 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一問一答]

・ 地域コミュニティ活性化について

地域コミュニティの核となるのが自治会で、地域の防災や安全面に与える影響は大きいと考える。少子化・高齢化・人口減少なども要因の一つと考えるが、本市の自治会組織の現状と、今後について問う。

また、地域コミュニティ活性化を考える時、「民生児童委員」の役割も大きいと考える。委員の高齢化や負担の重さ、活動の意義が伝わらないなど、なり手も不足していると聞く。本市の「民生児童委員」の現状と、今後の取組等を問う。



17 福本 明日香 議員（超党・市民ファースト議員団） [一問一答]

1 本市の学校教育について

インクルーシブ教育推進に向けた副籍制度導入について、2年間のモデル事業の成果と課題、次年度計画、受け入れ側児童への多様性理解教育や保護者への制度周知策を問う。また、食育と地域経済活性化を目的とした学校給食への地場産物活用について、現在の活用状況と使用率向上のための課題及び市としての解決策を問う。



2 土木インフラ維持管理とデジタルメンテナンスの推進について

職員減少とインフラ老朽化対策としてのデジタル化についてや、ベテランの暗黙知のデータ化、包括的民間委託に伴うスマートバイヤー育成と若手の現場教育のあり方を確認する。また、予防保全によるライフサイクルコスト最適化や、K P I設定を通じた市民への説明責任、インフラ維持管理の将来展望について、市の見解を問う。

18 山本 治兵衛 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

1 舞鶴市の文化振興と、その文化をたしなむ方々への対応について

先日、舞鶴市議会で開催した議会報告会「ほっとミーティング」において、市民の方から文化振興に関する意見を拝聴した。舞鶴市は文化振興基本計画を定めて市民の文化活動を推奨しているが、文化活動をたしなんでいる市民にスポットが当たりにくいのではないかと、という意見であった。文化振興基本計画の趣旨に則って市民の文化活動がより活発となるよう、市の考え方を問う。



2 若者の進路等による動向について

舞鶴市の発展には、若者が舞鶴へ戻り、活躍していただくことこそが重要であるが、現在において若者の進路がどのような状況となっており、舞鶴へ戻っていただくには何が必要か、今一度、整理と提案、議論をするために市の考え方を問う。

3 西舞鶴駅西口駅前広場について

美しく整備をされた西舞鶴駅西口駅前広場であるが、道路区画が大幅に変更されたことによって、駅周辺を利用、通行される市民の方々から様々な意見を聴くようになった。加えて、より良い西舞鶴になるよう、街路樹を含めた景観や防災に関する観点から、今後の検討課題について、市の考え方を問う。

18 尾関 善之 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一問一答]

・ 高潮対策について

昨年8月には、高潮により、東西地区で床下浸水と道路冠水が発生しており、引き続き、他の道路管理者等の関係機関とも連携し、高潮対策にしっかりと取り組んでいくとの答弁をいただいたので、市の取組を問う。

また、吉原地区においては、日常生活に深刻な影響が出ており、抜本的な対策に加え、伝統的建造物群保存地区に向けて努力されており、浸水対策、下水道対策等の現状に鑑み、環境改善に関係して早急に取り組む必要がある。市の考えを問う。

